

『脳から治す整体法』を完成。これは最先端脳科学で実証されたツボ治療法です。

生後10年間一歩も歩くことが出来なかった脳性麻痺の少年が 20分後自分で歩けるようになった世界一簡単な驚異の治療法

脳卒中後遺症で歩行困難であったが5分後、大きく改善し楽に歩けた

整体一筋 38 年の萩原秀紀は、13 年前に自らが花粉症になり、治す為の治療方法を模索していて、鼻の詰まりを改善するポイントを発見しました。

その後、誰でも簡単に正確に押せるツボ押し器を開発し、さらに改良を繰り返し、ようやくツボ押し器を応用した治療法を完成させるに至りました。

この治療法は、脳機能を応用して脳から整体バランスを正常化させ、さらに脳をリラックスさせ、同時に活性化させる脳呼吸法です。

脳脊髄液の流れを高め、自然治癒力を最大限に良くする事が出来る世界唯一の科学的検証に基づいた治療法といえます。

その他の症例 《下記の感動の記録は総てビデオに収録》

- ① 14 年間右手の親指と人差し指を使って物を持つことが困難であった脳性麻痺の少女は 10 分後には物をつかめる様になり 1ヶ月後には習っていない言葉を話し記憶力も知能も大きく改善した。(父親の証言記録映像有)
- ② パーキンソンで歩行や動作が不自由であったが5分後に何ともなく改善した。
- ③ リウマチで手足が動かない車椅子の老女が5分後に手の感覚が改善し感動して泣き出し、10分後には歩けなかった足もよくなり自分で立って歩けるようになった。

科学的検証は島津製作所製の NIRS という光脳機能計測器で脳の酸素消費量を計測する方法で行いました。

脳の計測を担当した加藤俊徳医博(株式会社脳の学校)は NIRS の原理を考案した医師です。加藤医博によりこの口内挿具は脳をリラックスさせることが出来る世界唯一の物と評価されました。

このツボ「天迎香」は鍼灸の歴史 4.000 年間、誰も発見する事が出来なかった脳の力を引き出す救命の口腔内のツボです。この存在を知る事で多くの痛み悩む人が救われるように、その存在を世界中に発信するため鍼灸学会では一番大きい全日本鍼灸学会学術大会で「天迎香」のツボの存在を昨年5月に発表しました。



現代医学では治療不可能とされている各種難病に挑戦して効果を上げています。
(脳性麻痺・リウマチ・パーキンソン病・ダウン症・多発性硬化症など改善したビデオ撮影記録多数あります)

現在脳性麻痺や発達障害児、先天性難病に対して優先的に活動中です。

www.kaikai21.co.jp

口内装具や計測データに関しては弊社のホームページをご覧ください。

お問い合わせ

担当者：萩原秀紀 (はぎわらひでのり) 鍼灸師・マッサージ師・柔道整復師
(株)自然治癒力活性医学研究所 電話 045-845-3076 Fax 045-845-4372

〒233-0001 横浜市港南区上大岡東 1-9-7-2F 携帯電話 090-3220-6424